

未来を創るIT人材 ～NiXプログラム視察ツアー第5回報告書

NiXスタッフ一同

目次:

1. 視察ツアー組成に向けて.....	2
2. NiXプログラムとは？.....	2
(1) 概要.....	2
(2) トライアル採用型インターンシップ導入企業の事例紹介.....	3
3. 連携校のPDUとVKUにおけるNiXプログラムについて.....	4
4. ツアー・レポート.....	5
(1) 【PDU】表敬訪問・学生交流会.....	5
(2) 【VKU】VJITスペース開館式・学長との意見交換・学生募集セミナー.....	5
(3) 【ハノイ・ダナン】IT企業（ベトナム企業・日本支社）訪問.....	6
(4) 【ダナン】NiX傘下IT教育・NoBrSE開発拠点（有限会社CodeGym Danang）訪問.....	7
5. 参加企業の声.....	8
6. 視察ツアー報告書バックナンバー、次回ご案内.....	8
7. お問い合わせ先:.....	8
8. 付録（感謝のお手紙）:.....	9



（写真：PDU大学先生・NiXプログラムの学生・日本企業視察団による記念撮影）

1. 視察ツアー組成に向けて

株式会社NiX Education(以下、NiX)は、日本語教育とIT教育を融合した独自の取り組みにより、ベトナムでのグローバルDX人材育成を推進しています。中でも、日本企業のニーズに合致した即戦力人材の育成と、日本語×技術×実務経験を兼ね備えた教育モデルの確立に注力してきました。

その一環として、NiXは2022年より定期的に日本企業・自治体関係者向けの現地視察ツアーを開催し、これまでに延べ5回の実施を重ねてきました。第5回目となる今回(2025年5月26日～29日開催)は、ダナン大学傘下の越韓情報通信技術大学(VKU)内に開設された「VJITスペース」の開所を記念するタイミングと重なり、これまで以上に実践的かつ象徴的な視察ツアーとなりました。

ツアーでは、NiXが運営する日本語バイリンガルIT教育プログラム(JITプログラム)を実施中のフォンドン私立大学(PDU・ハノイ)および越韓情報通信技術大学(VKU・ダナン)を訪問し、実際の授業風景や教育成果を確認しました。また、各地での学生との対話、教育者との意見交換に加え、日越連携による企業ラボの見学、IT企業訪問を通じて、教育現場から産業界までの連携の広がりを直接体感する機会となりました。

さらに今回のツアーでは、日本企業との「リモートインターン・内定直結型インターン」を開始した学生たちの声や、実際の業務に従事する様子にも触れることができ、多くの参加者にとって「教育成果が“採用可能性”として具体化された瞬間」を実感する場となりました。

NiXでは、このような現場型視察を通じて、日本側の企業・教育関係者が現地の教育と人材に対してより深い理解と信頼を築き、新たな協業や採用につながることを期待しています。「百聞は一見に如かず」の精神のもと、教育と産業の交差点で生まれる共創の可能性を今後も広げてまいります。

2. NiXプログラムとは？

(1) 概要

NiXは2022年に設立され、現在ベトナム国内のIT系大学と提携し、それぞれのキャンパス内に日本語センターを設けています。そこでは、IT分野を専攻する学生を対象に、日本語と専門スキルを同時に育成する「NiXプログラム」が展開されています。

「NiX」という社名は、Nihongo(日本語)・Innovation(イノベーション)・Digital Transformation/X(デジタル変革)の頭文字に由来し、単なる言語教育にとどまらず、日本語を通じた即戦力人材の育成を掲げています。

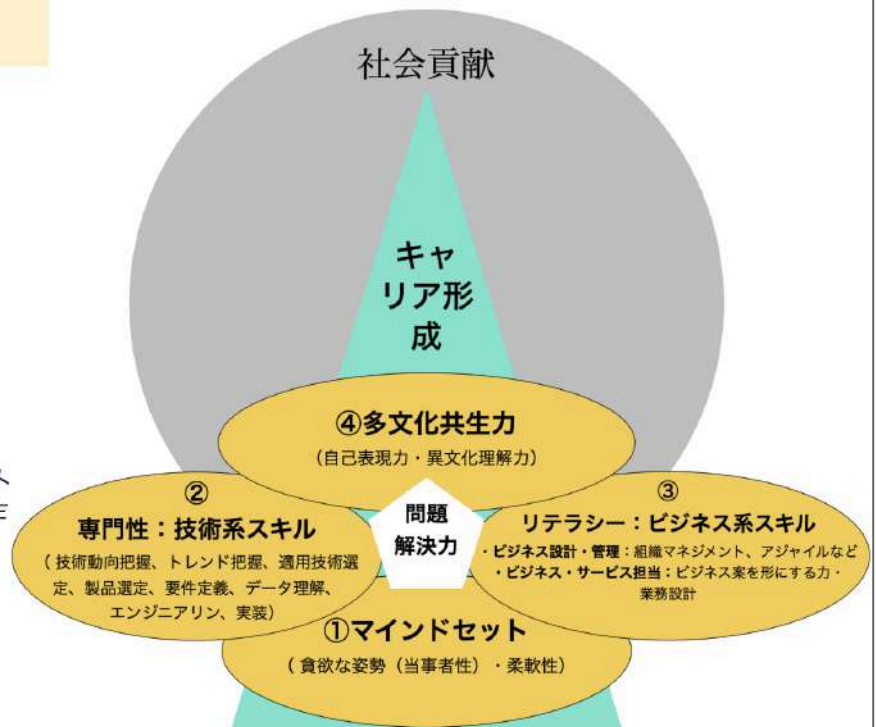
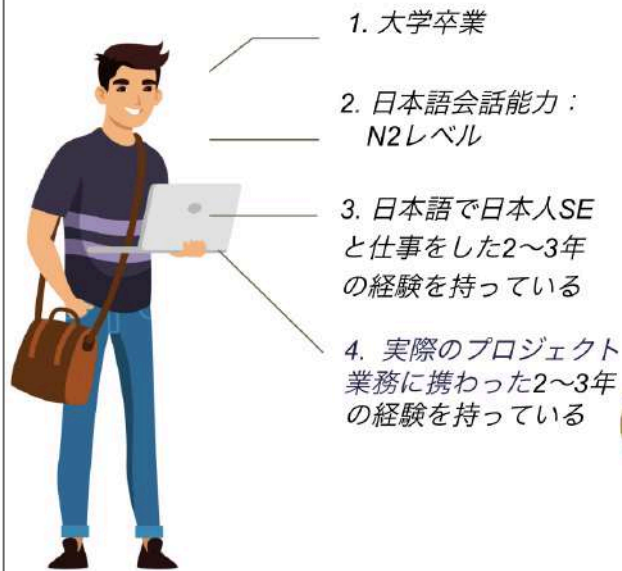
このプログラムの最大の特徴は、日本語教育・専門スキル教育・実務経験(インターン)の3つが一体化している点です。例えば、授業では、ITやAIの基礎知識を日本語で学ぶ「日技融合型教材」が導入されており、学生たちは技術と語学を並行して吸収しています。

NiXプログラムの卒業生は、プログラミングやネットワーク、システム設計などの技術に加えて、実務に即した報告・連絡・相談のスキルや、日本企業文化への理解、異文化コミュニケーション能力も兼ね備えています。そのため、多くの企業からは「内定時点で既にチームで動ける力がある」と高く評価されています。

さらに、同プログラムでは学生が日本語でのプレゼンテーションやプロジェクト発表を経験する機会が豊富に設けられており、受け身ではない、「自走型」人材の育成が進められています。こうした人材像こそ、DX時代において日本企業が求める「協働・創造・主体性」のある若手として高い注目を集めているのです。

NiXでは、今後も日本語教育を基盤に、教育・技術・企業と連携した実践的な育成をさらに深化させ、アジア発のグローバル人材育成モデルとして確立していく方針です。(写真2)

NiX人材像（卒業時点）



(写真：NiXプログラムの人材像及びキャリア形成モデル)

(2)トライアル採用型インターンシップ導入企業の事例紹介

NiXプログラムでは、学生が在学中から日本語と専門スキルを磨くだけでなく、企業現場での「実務経験」を通じて、即戦力としての素地を養うことを大切にしています。特に、日本企業との連携によって実現されているトライアル採用型インターンシップ制度は、企業と学生双方にとって高い価値を生み出しています。以下は、その代表的な事例です。

■ 事例①：株式会社DGフィーリスト(北海道)

① トライアル採用型インターンシップの体制

DGフィーリストは、ベトナム・ダナンにあるVKUのキャンパス内に専用のラボを設け、日本人社員が現地に滞在してインターン指導を行っています。学生は、日本語でのコーディング、設計書作成、技術調査、テスト業務まで幅広く経験しています。現場でのコミュニケーションはすべて日本語で行われ、日常業務でも支障なく意思疎通が取れています。

② 担当者のフィードバック

「日本語・技術ともに期待を超える力を発揮しており、安心して業務を任せられる」「単なる実務体験にとどまらず、

コーディング以外の仕事にも前向きに取り組む姿勢に感銘を受けた」と高評価されています。初めて外国人と働く環境にも関わらず、「むしろこちらが学ばされることも多い」と語られ、今後も継続的な受け入れが予定されています。



(写真：VKUキャンパス内の専用ラボでの作業風景)

■ 事例②：株式会社GLD-LAB(鳥取県)

① トライアル採用型インターンシップの体制

GLD-LABでは、ベトナム・ダナンにあるVKUのキャンパス内に研究室(ラボ)を設け、NiXプログラムの学生4名をインターンとして受け入れています。日本人担当者が日本から

リモートで指導を行い、学生たちは当ラボから実在のプロジェクトに参加しています。設計・実装・テスト・報告などをすべて日本語でこなしながら、開発はスプリント方式で進められています。毎日オンラインでスタンドアップミーティングを行うなど、現場さながらの運用体制が整えられており、実務に近い環境で成長を促しています。

② 担当者のフィードバック

受け入れた学生4名について、「日本語力が非常に高く、日々の業務報告やフィードバック対応が自然で、安心して任せられた」「半年間でスキルが大きく伸び、すでにジュニアエンジニア相当の即戦力」と高評価が寄せられています。さらに、リーダーとしてタスク管理やチーム支援を担う学生もあり、主体性や責任感の強さも印象的だったとのこと。文化の違いによる課題も対話を通じて乗り越え、「インターン生との協働は、企業にとっても新たな学びの機会となった」と、今後の継続的な受け入れにも前向きな姿勢が示されています。



(写真: VKUキャンパス内の専用ラボでの作業風景)

3. 連携校のPDUとVKUにおけるNiXプログラムについて

NiXプログラムは現在、ハノイのフォンドン私立大学(PDU)およびダナンの越韓情報通信技術大学(VKU)という2つの提携大学で展開されています。両大学ともにIT・テクノロジー分野に注力する高等教育機関であり、日本語とIT教育を融合させたNiXプログラムの導入により、即戦力となるグローバル人材の育成が加速しています。

PDUでは、2023年10月にNiXとの協力のもと、1期生として23名が入学し、2024年には2期生として26名が新たに加わりました。これらの学生は、日本語教育とともにIT技術を体系的に学び、島根県や北九州市の企業・自治体との連携を視野に入れた実践的な学習を進めています。また、学内外での学生交流や企業訪問を通じ、実務的な視点や職業意識を早期に育てる取り組みが評価されています。

一方、VKUでは、2022年よりNiXとの連携が本格化し、1期生(33名)、2期生(38名)、3期生(81名)と着実に受講生

を増やしています。これまでに延べ150名以上がNiXプログラムに参加し、1,200時間を超える日本語教育とIT教育を通じて、卒業時には日本語能力N2相当の会話力と、実務に耐えうる技術力を兼ね備えることを目指しています。

さらに、両大学のキャンパスにはNiXの日本語教育専門家やIT指導者が常駐しており、学生の学習を日々サポートする体制が整えられています。このような継続的かつ現場密着型の教育支援は、一般的な語学教育や講義型学習とは一線を画す、実践的なグローバル人材育成モデルとして注目を集めています。

これらの成果はすでに数字としても表れており、これまでに20名以上の学生が日本企業への内定、あるいはリモートインターンシップの形で実務に関わる機会を得ています。特に、コミュニケーション能力や業務遂行力の高さが企業側から高く評価されており、今後のさらなる展開に向けて期待が高まっています。

■PDU

フォンドン私立大学(PDU)は1994年に創立され、現在約8,000名の学生が在籍する総合大学で、ハノイに位置し、2つのキャンパスを有しています。



(写真: フォンドン私立大学(PDU)の風景)



(写真: フォンドン私立大学 (PDU) NiXプログラムの授業風景)

■VKU

越韓情報通信技術大学 (VKU) は、ベトナム中部のダナンに位置するダナン大学傘下の情報通信技術に特化した大学で、現在7,000名の学生が在籍しています。



(写真: 越韓情報通信技術大学 (VKU) キャンパス風景)



(写真: VKU大学内NiXプログラムの授業風景)

4. ツアー・レポート

(1)【PDU】表敬訪問・学生交流会

視察初日 (2025年5月27日)、一行はPDU情報通信技術学部を訪問しました。北九州市の行政関係者およびIT関連企業の代表者らとともに行われた今回の訪問では、「G-JIT (ベトナム・日本IT人材育成プログラム)」の枠組みの中で、教育関係者との意見交換や、NiXプログラム在籍学生との交流が実施されました。

PDUの Nguyen Minh Dan 学部長からは、同学部が目指す「日本語力と専門スキルを兼ね備えた高度な人材育成」についてのビジョンが示され、今回の視察が「日本企業と学生双方にとって大きな意味を持つ」と述べられました。

学生との交流会では、学生たちが事前に調査した企業情報をもとに日本語で自己紹介や質問を行い、企業文化やインターン制度について積極的に対話を図る姿が印象的

でした。日本企業に求められるスキルや企業文化についても熱心に質問を投げかけていました。



(写真: 大学関係者と視察团による表敬訪問時の記念撮影)



(写真: NiXプログラム学生と視察团による交流会の風景)

(2)【VKU】VJITスペース開館式・学長との意見交換・学生募集セミナー

5月28日、視察団はダナンにある越韓情報通信技術大学 (VKU) を訪問しました。今回の訪問の目玉は、NiX EducationとVKUが共に整備した日越産学官連携拠点「VJITスペース (Vietnam-Japan Innovation & Technology Space)」の開館式でした。

式典には、在ダナン日本国総領事館の森健朗総領事、北九州市経済工業局、国際交流基金ベトナム日本文化交流センター、ならびに日本企業代表が出席し、教育と産業の交差点に誕生したこの新拠点への期待が表明されました。

このVJITスペースは、教育 (学び)・協働 (共創)・実務 (即戦力育成) が交差する「イノベーションのハブ」として位置づけられ、産学官の連携を象徴する場となることが期待されています。

開館式後には、VKU学長であるHuynh Cong Phap氏との意見交換も行われ、大学の教育ミッション、産学連携への取り組み、国際協力への姿勢が共有されました。学長が

らは「VKUにおける日本語バイリンガルIT教育は、大学の戦略の中核であり、今後も企業と共に人材を育てる環境づくりを進めていきたい」との強いメッセージが伝えられました。

さらに、NiXが主催するJITプログラムの学生募集セミナーも行われ、約100名のVKU生が参加しました。企業代表による講話、現役学生によるプレゼンやインターン体験の共有などが行われ、会場は終始活気に包まれました。

学生たちは、日本語での質疑応答や企業への質問を積極的に行い、視察団の多くが「受け身ではなく、自ら学びに行く姿勢に驚いた」「短期間でここまで成長しているとは思わなかった」と好意的な印象を抱いていました。



(写真: NiXプログラム学生と日本企業視察団によるホイアン観光時の記念撮影)

(3)【ハノイ・ダナン】IT企業(ベトナム企業・日本支社)訪問

視察ツアーの最後には、NiXと関係の深い4社のIT企業を訪問し、現地の事業活動や人材活用の現場を見学しました。これらの企業は、NiXプログラムの学生を受け入れるインターン先であると同時に、ベトナムにおける日系企業との橋渡し役としての機能も果たしています。

ハノイでは、**DEHAVietnam**を訪問しました。創業以来、DEHA SOLUTIONSは日本企業のDX推進を強力に支援するシステム開発とITソリューションを提供しております。お客様の多様なニーズに合わせた柔軟な開発体制と、高品質な技術・サービスを通じて、ビジネスの成長に貢献しています。

NALVietnamも訪問しました。現在200名規模のオフショア開発企業で、ベトナムオフショア企業TOP10に選出された実績を持ち、日本向けのソフトウェア開発において高い評価を得ています。アジャイル開発を中心に、スクラム体制の導入、日本語に堪能なブリッジSEの配置など、日本企業との協業に最適化された体制を整えており、開発スピード・品質・コミュニケーション面での強みをアピールされました。

ダナンでは、**MynaviTechTus**および、**IJGlobal SolutionsVietnam (IJVietnam)**を訪問しました。MynaviTechTusはダナン本社を中心に、フエおよびホーチミンにも開発拠点を構え、約250名規模の体制で、日本向けのシステム開発を主軸に事業を展開している企業です。MynaviTechTusでは、NiXプログラムの学生がすでにインターンとして参加しており、職場での報告・連絡・相談、開発実務への関わりなどを通して、就業力を高めています。

IJVietnamは、日本の大手インターネット企業IJのベトナム拠点で、クラウド、セキュリティ、ネットワーク、モバイル通信などのITサービスを提供している企業です。FPTなど現地企業との連携もあり、ベトナム国内でのIT導入を支援しています。NiXプログラムの学生の受け入れを積極的に検討して



(写真: VJITSpace開館式による記念撮影)



(写真: 学生募集セミナー風景)

くださっています。



(写真: IT企業訪問、株式会社DEHAVietnamと視察団による訪問時の記念撮影)



(写真: 日本企業支社、IJ Vietnamと打合せ風景)

こうした企業訪問により、参加者は現地ビジネスの実態と人材供給の接点について理解を深め、「教育→実務→採用」という一貫した人材育成プロセスの可能性を実感しました。

(4)【ダナン】NiX傘下IT教育・NoBrSE開発拠点(有限会社CodeGym Danang)訪問

CodeGymDanangは、2025年初頭よりNiXグループの一員として正式に運営されており、今後さらなる発展を目指して再始動しています。NiXが有するネットワークやパートナー連携を活かしながら、地域のIT人材育成拠点としての役割が期待されています。

現在は、ITエンジニア育成を目的とした短期集中型のブートキャンプ形式の研修を中心に展開していますが、加えて、近年需要が急増しているAIやデータサイエンス分野の講座も開始しており、先端技術分野に対応できる人材の輩出に注力しています。

また、CodeGymDanangは、BrSE(ブリッジSE)を介さずに日本との連携を進めるNoBrSE型オフショア開発の拠点としての役割も担っており、NiXの技術的な戦略拠点としての可能性が期待されています。

今回の視察では、日本企業側もCodeGymの育成方針や学習環境に強い関心を示しており、将来的なビジネス連携への意欲がうかがえました。



(写真: IT企業訪問、株式会社NALVietnamと視察団による訪問時の記念撮影)



(写真: IT企業訪問、株式会社MynaviTechTusの職場風景)



(写真:株式会社CodeGymDaNangと打合せ風景)

5. 参加企業の声

第5回となった今回の視察ツアーでは、大学教育と企業ニーズを結びつける事例に加え、日越の連携によって形成された共創拠点「VJITスペース」が披露されるなど、内容・規模ともに過去最大級となりました。

ツアーに参加された企業・自治体の代表者からは、多くの前向きな声が寄せられました。

■地方自治体

- ・業界: 地方自治体／国際連携
- ・「学生との交流イベントが非常に良かったです。実際に学生の姿勢や能力に触れることができ、大変参考になりました。」

■株式会社株式会社タカショー

- ・業界: 建築／造園資材
- ・経営企画室: 松田 朋也 氏
- ・「とても有意義な時間を過ごせました。NiXを中心とした大学での教育事業や企業でのオフショア開発など最新の実例を現地で視察でき、内容をより深く理解することができました。VKUの学生と会えたことも大変うれしく思います。今後も優秀な学生との取り組みを広げていきたいです。」

■株式会社B

- ・業界: 製造業／放送・電子機器
- ・「現地企業の訪問は、生の声・業務状況が伺え、非常に参考になりました。次回は、学生との交流や個別訪問の時間がさらに充実すると嬉しいです。」

■株式会社C

- ・業界: ソフトウェア製品
- ・「Nix社の取り組みもすばらしく、ベトナムのITレベルを向上させたいという気持ちがひしひしと伝わり、その行動力には感服しました。」

6. 視察ツアー報告書バックナンバー、次回ご案内

第4回	2024年 12月	レポート: https://nix-education.com/recap-g-jit-program-tour-202412/
第3回	2024年 5月	レポート: https://nix-education.com/tetote-hackathon_2024_in_danang/
第2回	2023年 5月	レポート: https://nix-education.com/2023tour/

NiXでは、2025年11月に第6回視察ツアーの開催を予定しています。

■ NiX視察ツアー(第6回) 予定概要(暫定)

- ・スケジュール: 2025年11月
- ・訪問先: NiX連携大学のいずれか(ハノイ、ダナン、ニャチャン、カントー、タイグエン)
- ・主な内容:
 - 日越連携大学訪問・交流
 - ベトナムIT企業訪問・現地ネットワーキング
- ・対象参加者(予定): 日本企業、自治体関係者、教育機関 等

詳細情報は後日公開予定です。ぜひご参加をご検討ください。日越をつなぐ「学びと実践の現場」を、皆さまと共に体験できることを楽しみにしています。

7. お問い合わせ先:

株式会社NiXEducation

・住所: 6/87 Thien Hien, My Dinh 1 Ward, Nam Tu Liem District, Hanoi City

・Email: info@nix.edu.vn

・ホームページ(VN): <http://www.nix.edu.vn/>

・ホームページ(JP): <https://nix-education.com/>

・Facebook: <https://www.facebook.com/nix.edu.vn/>

[Hanoi Campus]

<https://www.facebook.com/GJIT.nix.pdu>

[DaNang Campus]:

<https://www.facebook.com/gjit.nix.vku>

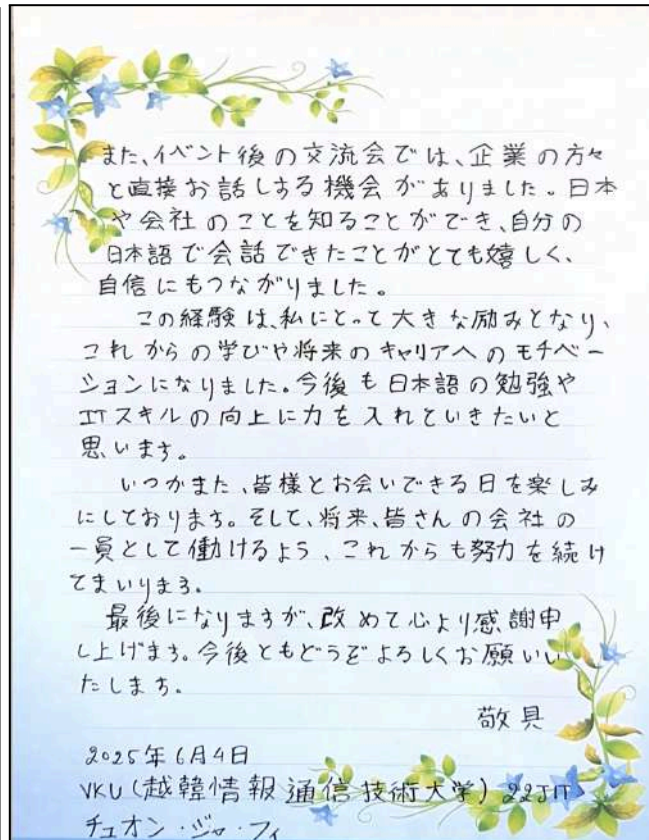
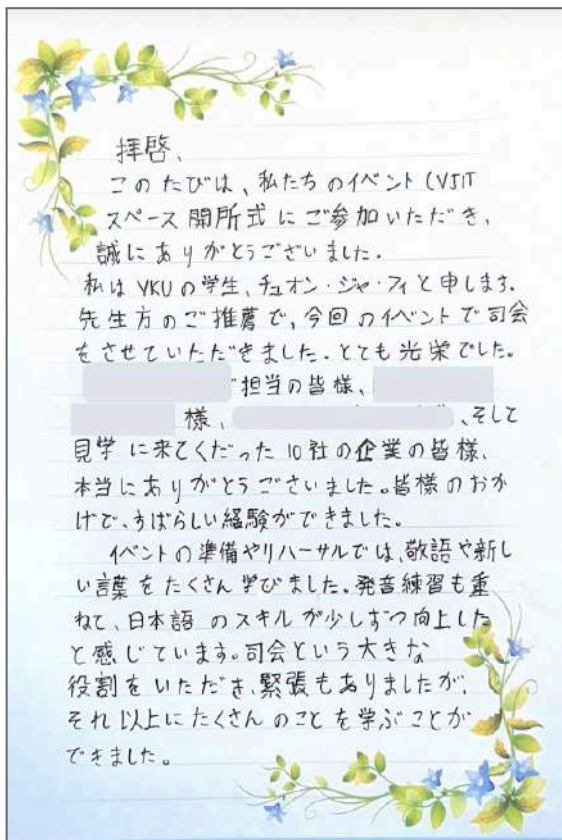
・メディア:

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/126023

8. 付録(感謝のお手紙):

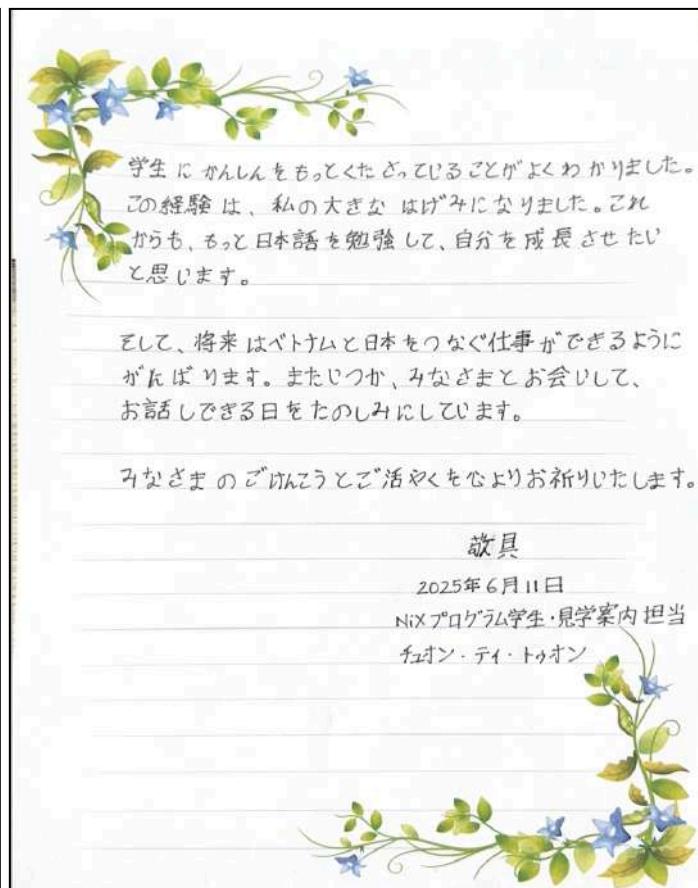
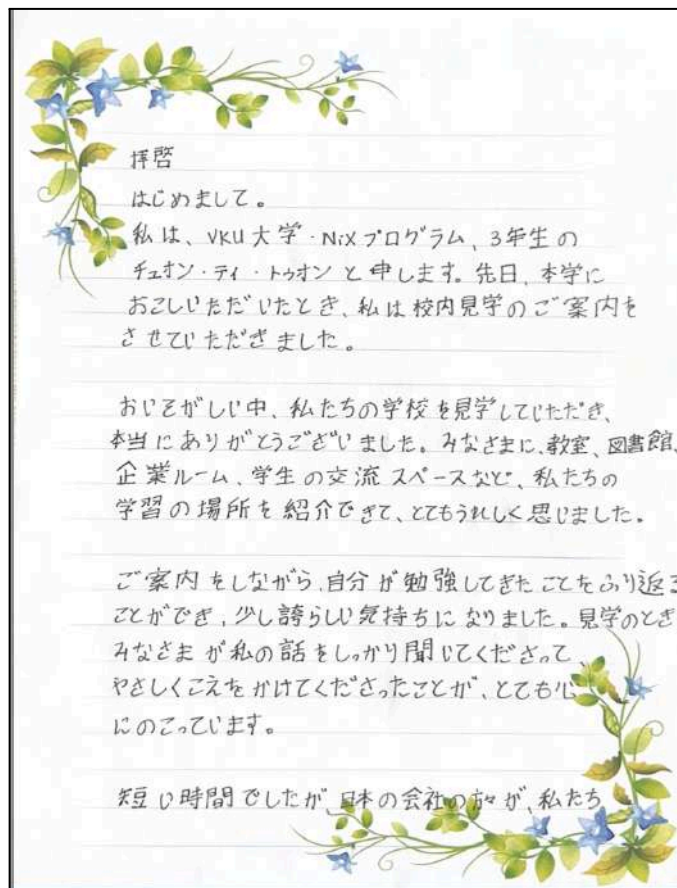
なお、本報告書の最後に、学生より企業様宛にお書きした手書きの感謝メッセージを添付しておりますので、ぜひご一読ください。

■VKU大学・開館式司会・3年生・チュオンジャフィさんの感謝メッセージ



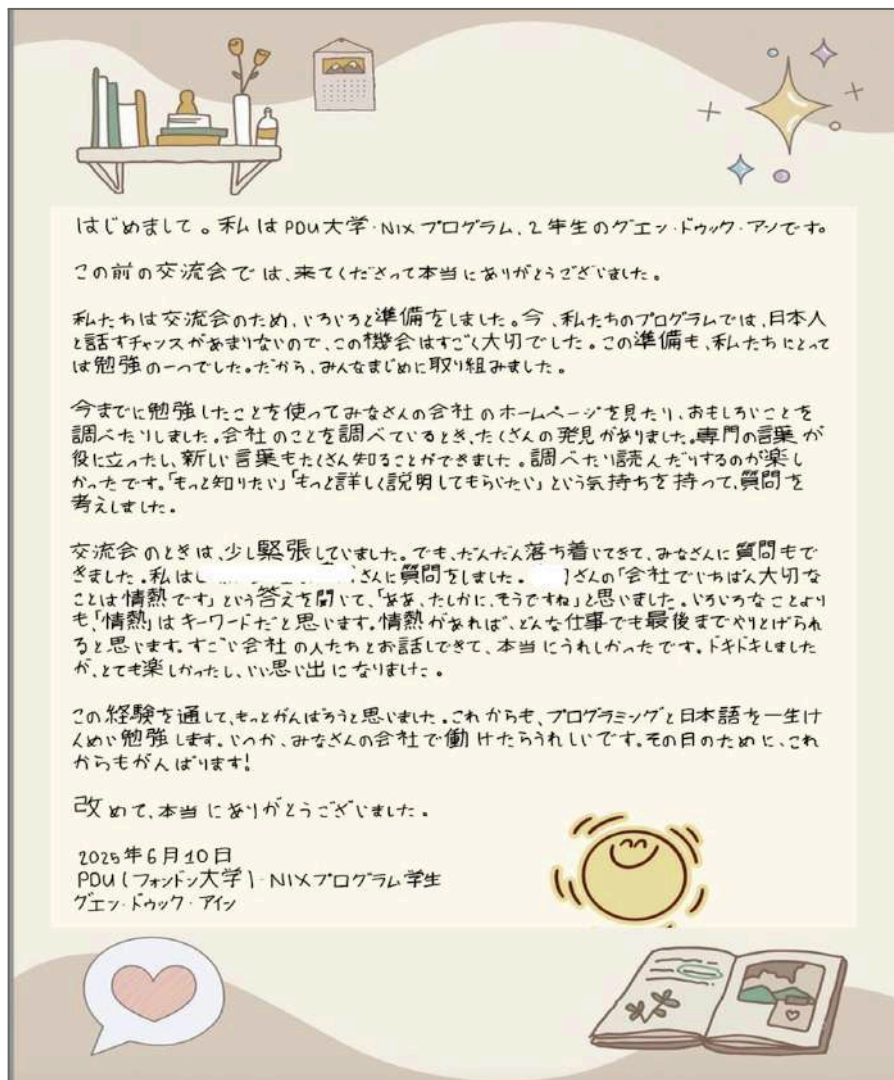
(写真: VJIT開館式の司会、右側のチュオンジャフィさん)

■VKU大学・日本語教室案内担当・NiXプログラム3年生・チュオンティトゥオンさんの感謝メッセージ



(写真:VJIT SPACE内の教室案内の風景)

■PDU大学・日本語教室案内担当・NiXプログラム2年生・グエンドウツク・アイさんの感謝メッセージ



(写真: 学生と視察団による交流会の風景)